

千葉でビジネスプラン発表会

旦千花
(八街市)

加工野菜事業を推進

デコボン
(成田市)

イチジク日本一計画

県内ベンチャー企業の振興を旨とした組織「ベンチャー・クラブちば」(事務局・県産業振興センター)のビジネスプラン発表会が29

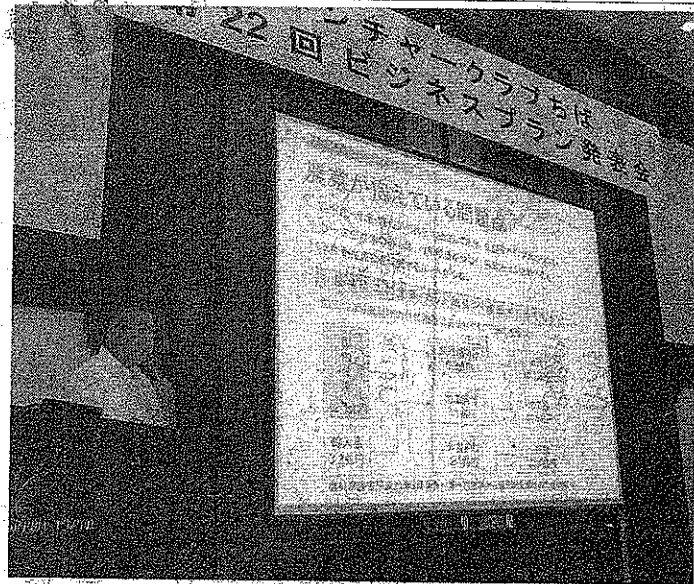
日、千葉市美浜区のホテルで開かれた。「アグリビジネス」をテーマに、ベンチャー3社が自社事業について詳しく説明した。

旦千花(八街市)の大槻洋光会長は加工野菜などの事業化の推進を発表。これまで主要事業として小松菜を改良したカルシウムの豊富な野菜「江戸菜」の生産・販売に取り組んできた同社。これに加え、さまざまな品種のカット野菜の製造・販売や、「落花生みそ」などの加工食品の製造・販売などに乗り出す。

大槻会長は「単身世帯の増加や高齢化により、外食や調理済み食品へのニーズ

が高まっており、加工食品の市場規模は将来大きく拡大する」と強調した。

生産者連合デコボン(成田市)の井尻弘社長は「イ



ビジネスプラン発表会で自社事業をアピールする旦千花の大槻会長＝29日、千葉市美浜区

チジク日本一プロジェクト」を発表。耕作放棄地などを活用してイチジクの農地を拡大し、ワインなどの加工食品作り、摘み取り体験など多彩な事業を展開する構想を持つ。井尻社長は「関東近郊に大規模な産地がないため、いち早く大規模化することで競争力を備えることが可能」とアピールした。

このほか、ハルデザイン(印西市、篠原茂社長)は花壇苗と野菜苗の自社ブランド商品を国内と中国向けに販売していくプランを発表した。会場にはベンチャーキャピタルや銀行などから約140人が出席し、発表に熱心に聞き入った。次回の発表会は11月に予定されている。

ちば経済